



実施報告書

2023 年度日系社会次世代育成研修 (高校生招へいプログラム)

2024 年 3 月

独立行政法人国際協力機構 (JICA)

公益社団法人青年海外協力協会

目次

I	日系社会次世代育成研修（高校生招へいプログラム）概要	1
II	研修員名簿	5
III	プログラム日程	7
IV	プログラム内容	8
V	研修員所感	18
VI	総評	33
VII	添付資料（募集要項）	34

I 日系社会次世代育成研修（高校生招へいプログラム）概要

1. 研修の目的

中南米の日系社会は世代交代が進み、2世、3世以降が今後の日系社会を担う存在となっています。本研修は今後の日系社会を担う世代に対する本邦での研修を通して、日本との関係強化や移住先社会の発展に貢献できるような人物を育成することを目的としています。

本研修では、優秀な日系高校生が本邦での様々な交流を通じ、自らの考えを発信する機会を持つこと、また、本研修で得た知識や成果を基に日系社会をリードする発信力のある人材へと成長するとともに、日本人の海外移住の歴史に関する学習、その他の各種研修を通じて、自分たちのルーツと日本に対する理解を深め、さらに自らの日系人としてのアイデンティティを強化することをねらいとしています。

2. 研修期間

来日日：2024年1月15日（月） 離日：2024年2月7日（水）

3. 研修員内訳（名簿は5ページを参照）

研修員

- (1) 人数：40名
- (2) 出身国：ブラジル18名、ボリビア4名、パラグアイ4名、ペルー4名、アルゼンチン4名、ドミニカ共和国1名、ウルグアイ1名、メキシコ3名、コロンビア1名

引率教員3名

- ・ブラジル サンパウロ州 マリリア日本語モデル校所属
- ・ブラジル サンパウロ州 モジ・ダス・クルーゼス市中央日本人会所属
- ・コロンビア サンティアゴ・デ・カリ市 日本語センター光園所属

4. 各プログラムの目的

カテゴリー	目的	講義等
導入	パワーポイントを使い、自身が暮らす町や日系社会、家族等についてプレゼンテーションを行い、互いの人となりを知る。また、他国へ移住した他の研修員の家族の歴史を聞くことで、中南米9カ国の移住の歴史について知る。	プレゼンテーション (国紹介)
	「馬車道地区」にある海外移住に関する記念碑等を見学し、移住学習への関心を高める。	オリエンテーリング
移住学習	時代ごとの海外移住の歴史、背景等を学ぶ。また、自身の家族の移住の歴史について理解を深める。	日系人と架け橋としての ニッケイ/ 海外移住資料館見学
	国や地域の歴史と、自身の家族の歴史を照らし合わせ、家族と自身のルーツを知る。また、他国や他の研修員の家族に関する移住の歴史を学ぶ。	移住年表づくり
	日系人のアイデンティティに関する様々な事例から、自らの日系人としてのアイデンティティについて考え、強化する。	日系人とアイデンティティ
	日系人としてどのようなポテンシャルがあるのか、研修員と近い環境でキャリアを形成してきた講師の事例から、将来の進路を考える。また、日本における多文化共生の視点から、日本と中南米の関係を知り、将来について考える。	日系人のポテンシャル
	研修の内容を振り返り、グループでのディスカッションと発表を行い、理解を深める。	振り返りディスカッション
高校体験入学・交流	日本の高校生と交流を通して、日本の高校生活がどのようなものか理解を深める。	高校体験入学 (神奈川県内)
ホームステイ	日本の家庭にホームステイをし、日本文化や習慣を体験する。また、家業体験を通し、ホストファミリーとの絆を深める。	ホームステイ (神奈川県内)

カテゴリー	目的	講義等
研修旅行	1. 箱根関所跡を訪れ、江戸の歴史に触れる。 2. 箱根ジオミュージアムを訪れ、火山について学ぶ。 鎌倉、江ノ島の寺社仏閣を訪れ、日本の歴史、文化を知る。	研修旅行（箱根、鎌倉、江ノ島）
その他	全国から移設された古民家を見学し、日本の伝統的な生活を知る。 藍染め体験を通して、奈良時代から伝わる染色技術を体験する。	施設見学 （川崎市立日本民家園）
	科学技術の歴史、先端技術の活用事例を知る。 発信力や自己表現力を高める。	施設見学（東芝未来科学館） プレゼンテーション・スキル講座
	日本へ留学するための情報を得る。 留学生から実際の留学生活、留学前の準備などについて聴き、疑問を解消することで、具体的に留学生生活をイメージし、将来の進路選択の幅を広げる。	日本への留学 留学生との交流
	研修中、学んだことをまとめ、成果品としてグループで1つずつ、体験入学した高校で1つずつ動画を作る。	動画制作
	日本の伝統文化を体験する。	日本文化体験講座 （茶道、書道） 施設見学（藍染）

5. 各カテゴリーの実施について

(1) 導入

来日前に準備したパワーポイントを使って自国の紹介を行い、これから一緒に研修を受ける仲間のこと、近くの国の日系社会のことを理解し合いました。

また、馬車道地区を散策し、海外移住に関連した記念碑等を巡る「オリエンテーリング」を実施しました。移住の歴史に関する理解が深まりました。

(2) 移住学習

移住学習では、日本人の海外移住の歴史を学び、日系人としての可能性やアイデンティティを強化するため「日系人と架け橋としてのニッケイ」「日系人のアイデンティティとその多様性」「日系人のポテンシャル1, 2」の3つのテーマで4つの講義を行いました。講義の中では、グループディスカッションの時間もありました。また、来日前に家族から聞いた移住の話や知っている歴史を基に移住年表を作成し、中南米へ移住した日本人の海外移住の歴史や経緯、移住後の生活を見える化し、理解を深めました。

最終発表では、「日系人のアイデンティティ」「日系人のポテンシャル」「日系と懸け橋としてのニッケイ」「日本の文化・習慣」の中から、テーマを一つ選択し、研修中に学んだことや体験したことをについて、グループごとに発表を行いました。

(3) **高校体験入学・ホームステイ、高校生との交流**

○2024年1月18日(木)～1月20日(土) **高校体験入学・ホームステイ**

川崎市立川崎高等学校、川崎市立橘高等学校、横須賀市立横須賀総合高等学校、
大谷学園横浜隼人中学・高等学校

(4) **研修旅行**

	訪問先、実施内容
1月29日(月)	箱根(箱根関所跡、芦ノ湖、大涌谷)
1月31日(水)	鎌倉(建長寺、鶴岡八幡宮、高德院大仏殿) 江ノ島(江島神社、江の島岩屋)

(5) **その他**

上記(1)～(4)のカテゴリ以外で本研修の目的達成のために必要なプログラムとして、「プレゼンテーション・スキル講座」「日本への留学」「施設見学」「日本文化体験」を実施しました。

II 研修員名簿（国名・学校/所属団体名）

No.	国名	学校/所属団体名
1	ブラジル	エンラソス協会
2	ブラジル	のびる学園
3	ブラジル	モジダスクルーゼスモデル校
4	ブラジル	クリチーバ日伯文化援護協会
5	ブラジル	トメアス文化農業振興協会
6	ブラジル	カンポグランデ日伯文化体育協会
7	ブラジル	ひまわり学園
8	ブラジル	ドウラードス日本語学校モデル校
9	ブラジル	マナウス日本人学校
10	ブラジル	ドウラードス日本語学校モデル校
11	ブラジル	カンポグランデ日伯文化体育協会
12	ブラジル	のびる学園
13	ブラジル	トメアス文化農業振興協会
14	ブラジル	のびる学園
15	ブラジル	アライアンス日本語学校
16	ブラジル	ペロタス日伯文化協会
17	ブラジル	サルバドール日伯文化協会
18	ブラジル	ミナス日伯文化協会岡野
19	ボリビア	サンファン日本ボリビア協会
20	ボリビア	サンタクルス中央日本人会
21	ボリビア	マリア・オーシリアドーラ教育ユニット
22	ボリビア	ラパス日本人会
23	パラグアイ	マリア・アウクシリア高等学校
24	パラグアイ	アスンシオン日本語学校
25	パラグアイ	ラ・コルメナパラグアイ日本文化協会
26	パラグアイ	エンカルナシオン日本人会
27	ペルー	鶴日本語学校
28	ペルー	ラ・ウニオン日系校
29	ペルー	ラ・ウニオン日系校
30	ペルー	ラ・ウニオン日系校
31	アルゼンチン	ブルサコ日本人会
32	アルゼンチン	ミシオネス日本人会
33	アルゼンチン	ラプラタ日本語学校
34	アルゼンチン	ブエノスアイレス日亜学院

No.	国名	学校/所属団体名
35	メキシコ	日本メキシコ学院日系青年部
36	メキシコ	メヒカリ日系人協会日系青年部
37	メキシコ	東北部日墨協会
38	ドミニカ共和国	フランボジャン日・ド文化会
39	コロンビア	ボストン インターナショナルスクール
40	ウルグアイ	在ウルグアイ日本人会
引率 教員	ブラジル	サンパウロ州 マリリア日本語モデル校
引率 教員	ブラジル	サンパウロ州 モジ・ダス・クルーゼス市中央日本人会
引率 教員	コロンビア	サンティアゴ・デ・カリ市 日本語センター光園

Ⅲ プログラム日程

実施日	曜日	朝会 9:15～ 9:30	9:30～ 10:20	10:30～ 11:20	11:30～ 12:20	12:20～ 14:00	14:00～ 14:50	15:00～ 15:50	16:00～ 16:50	夕会 17:00～ 17:50
1/15	月	到着								
16	火	朝会 (9:30)	開講式 (10:00)	プレゼンテーション (国紹介)		昼休み	プレゼンテーション (国紹介)		夕会	
17	水	朝会	アイスブレイク	研修オリエンテーション		昼休み	体験入学・ホームステイ オリエンテーション		夕会	
18	木	高校体験入学/ホームステイ								
19	金									
20	土	ホームステイ/休日								
21	日	休日								
22	月	朝会	日本文化体験 茶道/書道			昼休み	日本文化体験 茶道/書道		夕会	
23	火	朝会	日系と懸け橋としてのニッケイ/ JICA海外移住資料館見学			昼休み	オリエンティング (馬車道地区散策)		夕会	
24	水	朝会	プレゼンテーション・スキル講座			昼休み	日系人のアイデンティティとその多様性		夕会	
25	木	施設見学 川崎市立日本民家園/東芝未来科学館								
26	金	朝会	日系人のポテンシャル 1			昼休み	ワークショップ (移住年表づくり)		夕会	
27	土	休日								
28	日	休日								
29	月	研修旅行 箱根								
30	火	朝会	動画制作			昼休み	日本への留学		夕会	
31	水	研修旅行 鎌倉								
2/1	木	朝会	日系人のポテンシャル2			昼休み	振り返りディスカッション		夕会	
2	金	朝会	報告書 作成			昼休み	報告書作成	帰国 オリエンテーション		夕会
3	土	休日								
4	日	休日								
5	月	朝会	最終発表準備			昼休み	最終発表リハーサル		夕会	
6	火	朝会	最終発表 10:00-12:30			昼休み	閉講式 14:00	帰国準備		夕会
7	水	離日								

IV プログラム内容

1日目【1月15日（月）】

◆ 来日

9カ国（ブラジル、ボリビア、パラグアイ、ペルー、アルゼンチン、ドミニカ共和国、ウルグアイ、コロンビア、メキシコ）からの研修員40名と引率教員3名が来日しました。

2日目【1月16日（火）】

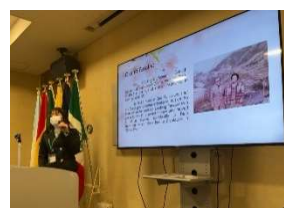
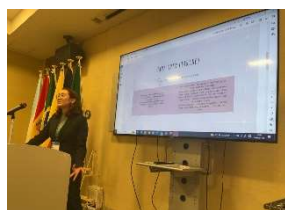
◆ 開講式

JICA 横浜の大野所長による挨拶、スタッフの紹介の後、研修員と引率者が自己紹介をしました。



◆ プレゼンテーション（国紹介）

パワーポイントを使って、自国や町の日系社会での活動、家族について、日本語または英語でプレゼンテーションを行いました。このプレゼンテーションにより他国の研修員の移住の歴史を知ることができました。また、お互いの日本語力、英語力にも刺激を受けていました。



3日目【1月17日（水）】

◆ アイスブレイク

研修員同士が早く打ち解けられるように簡単なゲームを行いました。名前、呼び名をはじめ、好きなものなど、この機会にお互いのことを少しずつ知ることができました。

◆ オリエンテーション

研修中の日程や生活の決まりについて確認しました。

4～6日目【1月18日（木）～20日（土）】

◆ 高校体験入学/ホームステイ

神奈川県内の川崎市立川崎高等学校、川崎市立橘高等学校、横須賀市立横須賀総合高等学校、大谷学園横浜隼人中学・高等学校の4校にご協力いただき、ホームステイをしながら高校体験入学を行いました。

部活の早朝練習や電車での通学等、研修員は自分の高校生活との違いに驚きました。緊張した面持ちで出発した研修員たちも、学校や家庭で温かく歓迎していただき、一緒に過ごす時間を楽しんでいました。最終日には「最高の家族だった。」「日本の日常生活、学校生活を知ることができた。」と話し、仲良くなった高校生やホストファミリーとの別れを惜しむ姿が多く見られました。



8日目【1月22日（月）】

◆ 日本文化体験 書道・茶道

日本の伝統文化である茶道、書道を体験しました。茶道では、ルールが多いことに驚きながら、慣れない正座も大事なことと積極的に学んでいました。書道では、筆の使い方から練習を始め、好きな漢字1文字を選んで書きました。思うように書けるまで、粘り強く練習して色紙に仕上げました。



9日目【1月23日（火）】

◆ 講義「日系と懸け橋としてのニッケイ」/JICA 海外移住資料館 見学

講義や海外移住に関する資料館の見学を通して、日本人の海外移住の歴史について学びました。また、日本人の血筋に限定されず、日本や日本文化が好きで、日系人と共に日系社会の行事等に参加する「ニッケイ」と呼ばれる人々についても教わりました。

研修員は「世界や中南米地域の移住史が、自国の日本人移住史と違いがあることに驚いた。」「nikkei を定義する多角的な視点に感銘を受けた」と話していました。



◆ オリエンテーリング

JICA 横浜周辺の「馬車道地区」を散策し、海外移住に関連した記念碑等を巡りました。研修員たちは戦後の日本国民を救った「ララ物資」の記念碑や、移住者の出発地となった大さん橋を訪れ、「移住に関連するものを見て素晴らしかった。歩き疲れたが、その価値はあったと思う。」と話していました。



10日目【1月24日（水）】

◆ プレゼンテーション・スキル講座

講師のプレゼンテーションをモデルにポイントを学んだ後、グループでプレゼンテーションを作りました。研修員は、「講師以外にも、他のグループのプレゼンテーションを見られて良かった。」「短い時間で全グループがプレゼンテーションを作り上げていたのが印象的だった。」と話していました。



◆ 講義「日系人のアイデンティティとその多様性」

世界で活躍する数々の日系人のエピソードからアイデンティティの多様性について学び、グループディスカッションを行いました。研修員たちはアイデンティティがいかに多様であるかに驚き、「研修員は皆、アイデンティティについてそれぞれの意見を持っていて、この小さな日系コミュニティの一部でしか見られない多様性を見るのはとても興味深い。」「自分が日系人であることを活かしている色々な事に挑戦して頑張りたい。」と話していました。



11日目【1月25日(木)】

◆ 施設見学「川崎市立日本民家園」

川崎市立日本民家園では、全国から移設された古民家を見学し、伝統的な家屋のつくりや生活様式に触れました。また、隣接している川崎市伝統工芸館で藍染めを体験しました。研修員は、「自国に帰ったら、自分のコミュニティで藍染めを紹介して広めたい。」と話していました。



◆ 施設見学「東芝未来科学館」

東芝科学未来館では、電気の歴史から未来への活用まで展示を見学しました。展示物の中には、発電や静電気など体験できるものも多く、研修員は楽しみながら学びました。

12日目【1月26日（金）】

◆ 講義「日系人のポテンシャル 1」

講師の経験、キャリア形成を通して、日系人の持つ可能性について学びました。後半はグループで、日系人について考えて発表しました。



◆ ワークショップ「移住年表づくり」

8つのグループに分かれ「移住年表」を作りました。家族に聞いた移住のエピソードの他、世界の出来事も年表に書き込みました。年表を作りながら、他の国や他の研修員の歴史を学びました。研修員は、移住の時期など中南米9ヶ国にも移住の歴史に相違点があることに驚きながら、理解を深めました。



15日目【1月29日（月）】

◆ 研修旅行 箱根

火山や火山を利用した観光などについて学びました。温泉の仕組みを知ったことや、科学的な事柄の他、硫黄のにおいが強かったこと、初めて船に乗ったこと、黒たまごを食べたこと、富士山が見えたことなど、五感で様々な学びや印象を残した旅行になりました。



16日目【1月30日（火）】

◆ 動画制作研修で学んだことなどをまとめた動画を作成しました。動画は講義でのグループワークの他、朝夕の点呼、研修会場までの行き帰りなど、いつも行動を共にしたグループで1本、高校体験入学で訪れた高校チームで1本の計2本作りました。



◆ 日本への留学

「JICA 日系社会リーダー育成事業」と日本財団による「日系スカラーシップ」の制度について、説明を受けた後、この制度で来日中の現役留学生 7 名と交流しました。本研修の参加経験がある留学生もあり、研修員は先輩方の留学生活についての話を聞くことで大いに刺激を受けました。



17日目【1月31日（水）】

◆ 研修旅行 鎌倉、江ノ島

鎌倉、江ノ島では、寺社仏閣を訪ね、日本文化に触れました。

寺院建築、日本人と宗教について、自然の景色、日本の歴史など、研修員は各々の着目点と感性で学びました。



18日目【2月1日（木）】

◆ 講義「日系人のポテンシャル 2」

講師の経験、キャリア形成を通して、日系人の持つ可能性について学びました。

研修員は「講師の言葉は、私たちが感じていることを代弁していた。」「新しい視点で物事を見られる気がした。」と話していました。



◆ 振り返りディスカッション

これまでの研修を振り返り、講義や訪問先で学んだことや感じたこと、今後どう活かしていくかなどをグループで共有しまとめました。同じ研修を受けながら、様々な視点や意見があることに気づいたと話していました。



19日目【2月2日（金）】

◆ 報告書作成

これから、本研修で学んだことをどのように活かすかを考え、総合報告書を作成しました。前日の振り返りディスカッションや研修で記録したことなどを見返しながら、各自真剣に取り組みました。この時間、外では雪が降り始め、多くの研修員が初めて見る雪に喜んでいました。



◆ 帰国オリエンテーション

帰国に向けて、離日日のスケジュール、荷づくりの注意点などを確認しました。

22日目【2月5日（月）】

◆ 最終発表準備

翌日の最終発表に向け、グループごとにスライドを作成し、リハーサルを行いました。これまでに学んだ移住学習、日本文化体験、日本の高校生や留学生との交流の中で、自分たちはどのように感じ、どう活かしていくかを話し合いました。

23日目【2月6日（火）】

◆ 最終発表

「日系人と懸け橋としてのニッケイ」「日系人とアイデンティティ」「日系人のポテンシャル」「日本文化と習慣」の4つのテーマをもとにグループ発表を行いました。



◆ 閉講式

JICA 横浜の大野所長より、修了証の授与を行い、研修員による代表挨拶をもって締めくくりました。



24日目【2月7日（水）・2月8日（木）】

離日日

初対面同士だった研修員40名は、本研修を経て強い絆で結ばれました。切磋琢磨した仲間との別れを惜しみつつ、それぞれ家族の待つ場所へ帰国の途につきました。

V 研修員の感想

アンケートより

1 ブラジル/エンソラス協会

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。
江ノ島、鎌倉、箱根、藍染め体験、講義「日系人のアイデンティティとその多様性」です。
- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。
藍染め体験です。
- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。
今後は、私の住んでいる街の日系人アーティストともっと関わりを持ち、プログラムで学んだテーマを扱ったアートプロジェクトを創り上げていくつもりです。

2 ブラジル/のびる学園

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。
高校入学体験が一番印象に残りました。日本の高校生の毎日の活動について習い、なにが流行り、どういう習慣を持っているのかを分かって、日本の今の文化について習えて凄く良かったです。
- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。
今の日本の状態を見て、ここでの毎日の活動を体験し、自分が探しているものや、私の価値観や道徳がここではまるかどうかを見るのが一番有益だと思いました。
- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。
ブラジルへ帰ったら、私の家族や友達、日系コミュニティの皆さんに私の JICA での経験を語り、今の日本の文化の状態や日本人の毎日の活動や表現のしかたについて話したいです。

3 ブラジル/モジダスクルーゼスモデル校

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。
ホームステイプログラムです。
- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。
講義や日本の高校での経験です。
- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。
私は世界中の日系コミュニティで日本文化を広めていくつもりです。

4 ブラジル/クリチーバ日伯文化援護協会

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。

日系人のアイデンティティに関する講義、そして旅行全般。みなさんとても言い方で、私の個人的な知識を深めるのにとっても役立ちました。

- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。

講義から施設見学やホームステイ/高校体験入学まで、すべてが非常に有益でした。この機会を与えてくれた JICA にとっても感謝しています、ありがとうございました。

- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。

自分の知識やアイデンティティにもっと自信を持って帰ります。そして一緒に活動しているグループやイベントなどで地域社会にもっと協力したいです。私の街で日本文化を広める手助けをしたいと考えています。

5 ブラジル/トメアス文化農業振興協会

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。

この研修では、たくさんの新しいことを学び、人生で見ることができないと思っていたような場所を訪れ、素晴らしい友人を作ることができたことです。

- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。

自分自身のアイデンティティをもっと知ることだと思います。

- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。

私は、ここで学んだことを日系コミュニティに伝えようと思っています。そして、若い新しい日系世代に、この素晴らしい文化、日系祭り、日系社会を継承していくよう、働きかけていくつもりです。

6 ブラジル/カンポグランデ日伯文化体育協会

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。

他の研修員がみんなとても親切でフレンドリーだったこと。お互いを知り、助け合い、共に学び成長し、楽しんで、気を楽に受講できた。

- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。

点呼は、スケジュールを整理するのにとても便利で実用的でした。グループ分けは、全員が出席していることを確認し、活動を行い、さまざまな人々と交流するのに役立ちました。

- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。

この研修で様々な国や背景を持つ多くの人たちと出会い、話をする機会がありましたが、そのほとんどの人から聞いたのは、日系社会の会員数が減少しているということでした。ブラジルに戻ってからは、日系コミュニティで積極的に活動を手伝い、若い人たちに日本

の文化や言語を学んでもらい、伝統を守るよう働きかけていきたいといます。

7 ブラジル/ひまわり学園

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。

旅行。少し急ぎ足だったにも関わらず、日本の豊かな文化を伝える有名な場所を直接見ることができてとても有意義でした。

- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。

このプログラムで学んだことはすべて有益でしたが、みんながもっと興味を持つのは日本を知ることができる、茶道、書道、藍染め体験の活動だったと思います。

- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。

日系コミュニティにもっと参加し、自分の経験について話したり、このプログラムが提供する可能性を示したりするつもりです。

8 ブラジル/ドウラードス日本語学校モデル校

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。

大学の交換留学（博士号取得のため）。江ノ島、鎌倉の研修旅行、馬車道地区散策、そしてホームステイです。

- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。

先輩たちとの交流が最も有益だったと感じました。

※先輩：日系の留学生「日本への留学」

- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。

この信じられないような経験と、ここで起こったすべてのこと、私が学んだことについて話すつもりです。

9 ブラジル/マナウス日本人学校

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。

ホームステイです。ホームステイは私が思っていたよりずっと良かったです。

- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。

ホームステイと高校体験入学です。

- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。

JICA 研修で学んだことをいかして、マナウスの日系コミュニティにきょうゆうし、より多くのわかものに JICA の研修、日本の文化、しゅうかん、移住歴史のりかいと いじをしてもらいたいと思います。

10 ブラジル/ドウラードス日本語学校モデル校

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。

外出や旅行です。人とのつながりをつくり、今まで知らなかった場所に行くチャンスでもありました。

- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。

絆、リーダーとしての能力、私たちとは異なる社会についての知識。

- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。

ボランティア活動を通してできる限りの交流を図り、イベントを企画したり、先生を手伝ったり、自分の経験を若い世代に伝えたりします。

11 ブラジル/カンポグランデ日伯文化体育協会

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。

日本での日常生活です。

- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。

講義と電車です。

- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。

地域社会でもっと積極的に活動し、自分が受けとった知識を広めていきたいです。

12 ブラジル/のびる学園

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。

ホームステイです。ホームステイや高校での体験は、私がアニメやドラマでみていた日本の日常生活と同じだったのでとても驚いた。授業に参加したことで、日本の授業がどのように行われているかがわかりました。部活は本当にかっこよかったです。

日系人のアイデンティティ、日系人のポテンシャルについての講義も双方向的な活動で多くのことを学べて興味深かったです。

- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。

講義がとても有益でした。電車も非常に便利でした。

- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。

これからは、家族や友人、日本学園の学生など、周りの人たちと研修について語り合いたいと思います。また、運動会の維持や手伝い、日本語教室の手伝いなどの活動にも力を入れていきたいですし、日本祭りのようなイベントにも参加したいです。

13 ブラジル/トメアス文化農業振興協会

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。

茶道と学校の経験が印象的でした。

- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。

日系人とニッケイの違いと意味です。※講義「日系と懸け橋としてのニッケイ」

- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。

私の町で日本での経験について話し、研修中に行ったイベントや講義から学んだことを他の人に教えたいと思っています。茶道とか書道などを教えたいです。

14 ブラジル/のびる学園

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。

研修中には一番印象的だったのは、高校体験とホームステイです。

- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。

この研修で一番有益だったのは日本の文化についてもっと学ぶ事が出来たことです。

- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。

帰国後、身近なコミュニティに私が学んだ事や体験した事を伝えたいと思っています。

15 ブラジル/アライアンス日本語学校

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。

ホームステイだと思います。私は日本の高校生の文化と日常生活を密接に見ることができ、とても感銘を受けました。

- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。

アイデンティティの定義だと思います。それは私を大いに助けてくれ、他の研修員にも同様に役立ちました。

- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。

日本の学校での研修で学んだことを紹介します。

16 ブラジル/ペロタス日伯文化協会

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。

体験入学した高校の人たちがどれほど親切だったかが本当に印象的でした。

- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。

ホームステイは間違いなく私の人生で最高の経験だった。なぜなら、短期間ではあったが日本の生徒になることができ、自分の生活について考えさせられました。

- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。

日本的なイベントをプロデュースする手伝いをしたり、地域の力になりたいと思います。

17 ブラジル/サルバドール日伯文化協会

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。

時間が本当に速く感じました。ときどき疲れることもありましたが、それだけの価値がありました！講義は本当に興味深く、特に友達との会話は面白かったです。先生たちはみんな親切で、思いやりがありました。

- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。

自分自身や自分の祖先についてもっと知ることができたことだと思います。私にとってこの経験は人生を変えるものでした。

- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。

私は自分の協会での研修について講演をし、今は別の日系がこのプログラムに応募するのを手伝っています。また、協会のジドウガシクタイカイで使用する書道用の筆も購入しました。

18 ブラジル/ミナス日伯文化協会

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。

ホームステイ体験と講義です。

- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。

この研修がまったく異なる国を直接体験し、日本人の日常生活を知り、日本人のマナーや信念に近づける機会だったことです。

- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。

私の住んでいる地域には日系コミュニティがないので、市内の学校で私が研修員として日本で経験したことや他の研修にも応募するという考えを紹介して広めたいです。また、私の州都で開催される日本文化に関するイベントに参加し、日本文化に親しもうと考えています。

19 ボリビア/サンファン日本ボリビア協会

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。

他の研修員との出会いです、他の国の日系社会はどういうものなのかを知ることができたからです。

- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。

日本人の移住の歴史を知れたことだと思っています。

- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。

より積極的に関わり、できる限りの協力や貢献をしたいと思っています。

20 ポリビア/サンタクルス中央日本人会

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。
高校入学が一番楽しくて一番感動しました。
- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。
日系アイデンティティと移住に対しての話が一番大事だと思います。
- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。
もっと自分の日系コミュニティの行事とかに参加したり、日系社会でもっと活動したいと思っています。

21 ポリビア/マリア・アウクシリア高等学校

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。
やっぱり「日本への留学」というプログラムで留学生のお話が聞けたことです。私もそういう留学のプログラムに参加してみたいなと思いました。
- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。
やっぱりひとつひとつの講義だと思います。とくに日系人のポテンシャルや、日系の架け橋などです。他には動画作成やプレゼンテーションなどのグループ活動です。
- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。
研修員0さんと同じ移住地に住んでいて日系コミュニティにも入っているので、2人で今回学んだ事を年下の子達に教えたり、また今度の研修に参加して貰えるように背中を押してあげたいです。あとは書道や茶道などを広めたいです。

22 ポリビア/ラパス日本人会

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。
「日系と懸け橋としてのニッケイ」のようないくつかの講義がとても面白かったです。
- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。
この研修は、私たちの日系人としてのアイデンティティを強化してくれたと思います。母国に戻って自分たちのコミュニティに貢献する意欲が湧きました。また、自分自身を発見することもできました。
- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。
自分の新しい知識で地域社会を助けたいです。私のコミュニティはコミュニケーションがあまりうまくいっていません。だからまず、より多くの人が活動に参加するように働き

かけたいです。また、伝統の継続を確実にするためのプロジェクトも行いたいです。そのために、私は語学や折り紙、書道などのワークショップを開くこともできます。

23 パラグアイ/ラパス日本人会

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。
1番印象的で、楽しかったのは、皆でホテルのロビーで過ごせたことです。皆の事を知ることができて、その時間に皆と仲を深められたと思います。凄く良い思い出です。
- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。
高校体験とホームステイで、実際の日本人の生活を知れたことだと思います。それから、やっぱり他国の日系人と知り合う事ができたことも有益でした。
- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。
積極的に色々な行事に参加したり、今後の地元の課題などを見つかりたいと思っています。

24 パラグアイ/アスンシオン日本語学校

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。
多くの人と知り合い、つながりを持てたことです。このような機会はなかなか得られませんが、多くの素晴らしい人とふれあうことで、多くのことを学び、成長できたことに本当に感謝しています。
- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。
日本で修士号を取得したいので、JICA が提供する奨学金について詳しく知ることができて本当に有益でした。
- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。
日系人であることへの感謝と誇りを示すために、そしてこの素晴らしい経験を友人や家族に伝えるために、自分のコミュニティで活動し続けたい。

25 パラグアイ/ラ・コルメナパラグアイ日本文化協会

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。
この研修で出会えた仲間たちです、一緒に楽しい時間をともにし、涙を流した仲間たちは一生の宝物です。ここでの出会いはそう簡単に忘れられないものです。
- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。
沢山の出会いができたことだと思います。沢山の人の出会い様々な生き方や考え方を知ることができました。それによってもっと大きな目標にも積極的に挑戦できるようになりました。

- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。

日本の魅力をさらに多くの人に知ってもらい、次世代が夢を追いかけられるように背中を押してあげたいです。

26 パラグアイ/エンカルナシオン日本人会

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。

忘れられない最高のことは、多くの人に出会えたことです。このプログラムで築いた関係は、私にとって本当に貴重なものです。このプログラムの研修員だけでなく、高校生やその家族、スタッフ、留学生など、日本で話をしたすべての人たちとの絆も。

- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。

日系アイデンティティの講義は本当に役に立ちました。それらの講義は、自分たちのアイデンティティをより深く理解するために、全員にとって本当に重要なものだったと思います。

- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。

帰国したら、まず日本で経験したこと、学んだことをすべて発表したいと思います。将来的には、このプログラムの元研修員を集めて、母国の日系社会のために何ができるか、日本文化を守り広めるために何ができるかを話し合ってみたいと思っています。

27 ペルー/鶴日本語学校

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。

ホームステイです。実際の日本の生徒の立場に立つことができ、家族の温かさも体験できたので、忘れられない思い出となりました。

- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。

JICA 海外移住資料館の訪問は本当に楽しかったです。旅の過程や、家族が新しい状況に慣れるまでにかかった時間を知るのはとても興味深いです。

- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。

私は国際関係のキャリアを終え、ラテンアメリカ諸国と日本との絆を深めるための架け橋となるような活動を行う団体に焦点を当てて関わっていきます。

28 ペルー/ラ・ウニオン日系校

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。

高校の体験です。日本人と話して、文化が国によってどのように異なるか、日本人とペルー人の人間関係はどのあたりが違うか調べるのが興味深かったです。

- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。

日本文化だけではなく、色々な国の文化の交流をしたから視野が広がったと感じていま

す。もう一つは奨学金について学んだので、自分が日本で留学する可能性も上がったと思います。

- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。

まず、知り合いに研修で得た経験について話して、日本の魅力を自分の日系社会に広げたいです。

29 ペルー/ラ・ウニオン日系校

- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。

この経験を生かして、友人や家族、あるいは私の経験に興味を持つ人に、日本がどのような国であるかを伝えたいと思います。また、日系人としてのアイデンティティを常に念頭に置き、先祖の国を常に忘れないようにしたいと思います、

例えば、美術を学ぶのであれば、書道や日本画といった日本の技法を取り入れた絵を描きたいし、建築を学ぶのであれば、日本の意匠を取り入れたいです。日本とペルーの両方を自分のデザインに取り入れていきたいと考えています。

30 ペルー/ラ・ウニオン日系校

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。

高校訪問です。日本の高校生として2日間生活できたことで、日本のライフスタイルに対する見方が大きく変わりました。

- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。

個人的には、他の研修生と話げできたことが一番役に立ったと思います。いろいろな国の人たちと知り合うことで、旅行や留学をしたいという気持ちが高まり、それだけで自国の外を探検することに自信が持てるようになりました。

- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。

自国の AELU にもっと関与するつもりです。AELU (Asociación Estadio La Union) は、さまざまな文化的イベントやスポーツアカデミーを主催する協会です。

31 アルゼンチン/ブルサコ日本人会

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。

箱根、鎌倉への研修旅行です。魅惑的な風景は深い印象を残し、日本文化についてより深く知る機会は、興味をかき立てられて楽しいものでした。絵のように美しい環境と文化的な探求の組み合わせは、日本の文化的・環境的側面に対する私の理解を深め、本当に豊かな経験となりました。

- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。
モチベーションを高めてくれる環境です。同じような目標を持つ人たちに囲まれることで、日本語をもっと学びたい、練習したいという意欲が高まりました。さらに、潜在的な日系の講義は、私の日系の概念を変えるものでした。それは、私の最初の認識を超えた新しい洞察とより良い理解を与えてくれました。この新たな視点は、私の日系人としてのアイデンティティをより大きなものとし、この研修は、言語学習にとって実用的であるだけでなく、文化理解という点でも豊かなものにしてくれました。
- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。

帰国後は、研修での経験を積極的に地元の人々と分かち合いたいと考えています。日本の美しさ、豊かな文化、そして私が探検する機会に恵まれた素晴らしい風景を、より多くの人に知ってもらい、理解してもらいたいです。私の目標は、他の人たちにも日本への訪問を考えてもらい、日本の独自性に対する同じような感謝の気持ちを育んでもらうことです。さらに、日本人移住者は私の住んでいる地域ではあまり知られていないので、そのことにも関心を持ってもらいたいと思っています。私は会話を始め、話を共有し、日本人移住者の重要な貢献と経験を理解してもらおうつもりです。そうすることで、私たちのコミュニティと日本との結びつきへの理解を深めてもらいたいと思います。

32 アルゼンチン/ミシオネス日本人会

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。
私にとってこれは私の人生で最高の経験だったので、このトレーニングプログラムの中ですべてが印象的でした。
- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。
他国の人々との交流の仕方、他言語を使うこと、そして自分たちのルーツと日系人としての可能性から多くを学んだこと。
- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。
日本と母国の懸け橋になれるよう、日系コミュニティの人がこのような奨学金制度に応募する動機付けをしたいです。

33 アルゼンチン/ラプラタ日本語学校

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。
最も印象的だったのは箱根と鎌倉旅行でした。日本の凄さや魅力を一番感じた時でした。温泉や博物館、神社や島など、いろんな所を見学出来て良かったです。
- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。
いちばん有益だったと思うことはプログラムでした。ちゃんと一つ一つ考えている事が伝わってきますし、目的を果たすために私たちに色んなことを与えてくれて感謝します。

- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。

はじめに家族や友達に日本や研修のことを話します。その後は正直に言いますと、分かりません。私の日系コミュニティで何ができるのか分かりません。何もしたくないという意味ではなくて、逆に、真剣で何かをしたい、手伝いたいから、真剣で考えたいです。

34 アルゼンチン/ブエノスアイレス日亜学院

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。

箱根、鎌倉、江ノ島への旅行ツアー、そして美術館の訪問や、茶道、書道、藍染めなどの伝統的な活動が本当に気に入りました。授業中にたくさんの新しいことを学びましたが、先に挙げた活動はアルゼンチンではできないと感じます。

- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。

具体的には特定のことを強調することはできません。なぜなら、この研修全体が新しい経験であり、実体験を通じて多くの新しいことを学ぶことができるからです。

- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。

私は慈善活動やスポーツ大会、社会文化活動に参加するなど、さまざまな方法で関与したいと考えています。

35 メキシコ/日本メキシコ学院日系青年部

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。

本当に親しい友人と出会えただけでなく、日本の高校生として生活できたことが最高でした。電車であんなに速く街を移動できたことも最高でした。しかし、参加した講義やこの複合的で完全な旅行がなければ、このプログラムの時間や休日の日々は同じではなかったでしょうし、過去の一秒一秒をこれほど楽しむこともできなかったと思います。

- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。

仲間同士の文化交流、そして日本人の祖先を持つ人たちの背景の話です。

- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。

私は、日系コミュニティと交流するために、新しい人たちを招待しようと考えています。自分の経験や、このコミュニティの近くにいることで、人生最高の旅行や思い出を作るチャンスがいかに広がったかを話します。日系人の注目を集め、このコミュニティが発展していくことを期待しています！

36 メキシコ/メヒカリ日系人協会日系青年部

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。

たくさんの日系人と出会い、日本人家族と暮らしたことです。

- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。
各講義と私たちの家族の移住についてのグループワークです。
- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。
研修から得た知識で、地域の日系社会の発展に貢献できればと思います。

37 メキシコ/東北部日墨協会

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。
特に高校体験はとてもよかったです。日本人の高校生活を知って、とても興味深くて、メキシコとの違い・共通点を知って、それに日本語の勉強にもなって、日本人のやさしさを知って、とてもいい経験でした。高校で仲良くできた人もいて、とても嬉しく思っています。「日本が受け入れてくれる」というのはとても印象的でした。
- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。
「日本が受け入れてくれる」ことだと思います。日系として、それに私として日本が受け入れてくれる気持ちが一番強く私に残りました。それは研修員・高校体験で会った人・移住歴史で学んだことを通して強く思って、これからのこと・目標にとってもモチベーションになりました。
- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。
日系コミュニティのイベント・活動にもっと参加して、モンテレイの日系人をもっと知りたと思っています。それに、手伝いたいと思います。「おかげさまで」の気持ちが研修を通してもっと強くなりましたから。また、東北日墨協会の歴史に興味をもったため、詳しく知りたいと思いました。

38 ドミニカ共和国/フランボジャン日・ド文化会

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。
日系人が私たちにしてくれた講義が大好きでした。講師たちの話の多くに自分を重ねることができました。旅行も素晴らしかったし、決して忘れることはないと思います。
- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。
室内で行ったアクティビティ、例えばプレゼンテーションや移住年表づくりなどです。とても役に立ったし、より早く学ぶことができたと思います。
- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。
日系の活動にもっと参加し、より多くの日系人を巻き込みます。

39 コロンビア/ボストン インターナショナルスクール

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。

この研修で最も印象に残っているのは、歴史や文化、自分たちのアイデンティティについてより深く学ぶことができ、なおかつ全ての時間を楽しみ、新しい胸躍る経験をし、素晴らしい人たちと忘れられない思い出を作ることができたことです。それ以外にも、日系人としての自分に対する疑問を解消し、あらゆることをよりよく理解するのに役立つ講義は、間違いなく最も衝撃的で貴重なもののひとつだと思います。

- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。

前述していますが、日系人のアイデンティティ、多様性、可能性についての講義は、多くのことを理解し、このテーマに関して抱いていた多くの疑問を解決するのに役立ちました。そのため、研修プログラムの中で最も役に立ったのはこれらの講義だったと思います。

- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。

私は日系人の様々な活動やイベント、関連することによってできるだけ参加したいと思っています。研修を通して学んだことを他の日系人に伝え、日系人のアイデンティティに関する疑問を解決し、自分の経験を分かち合い、日系コミュニティの中で歴史や文化が忘れ去られることのないようにしたいと思います。

40 ウルグアイ/在ウルグアイ日本人会

- ・研修中にもっとも印象的だったことをおしえてください。

日本で修士号を取得するために勉強しているインターンたちのプレゼンテーションでした。日本で勉強するための奨学金に参加するチャンスがこんなにあるとは知りませんでした。だから、将来は工学分野の奨学金に応募したいと考えています。

- ・この研修でいちばん有益だったと思うことはなんですか。

この研修では、JICA 海外移住資料館を訪れたことと、他の日系人によるプレゼンテーションが良かったと思います。このプレゼンテーションで、私は自分のルーツや日系人としてのアイデンティティについての知識を深めました。

- ・あなたは帰国後、身近な日系コミュニティに対してどのように関わっていきたいと考えていますか。

このプログラムで学んだことをすべて伝え、教え、日系コミュニティの若い人たちを励ましたいと思います。この経験は、日本についてより知ることができる素晴らしい機会であり、すべての日系人が参加すべきだと強く信じています。

引率者の所感

JICA 次世代育成研修高校生を引率して

次世代育成研修で、9カ国、40名の研修員は家族のルーツや日系人としてのアイデンティティについて考えたり、移住の歴史や日本の伝統文化を体験したり、高校体験入学やホームステイで、日本の高校生やその家族と過ごしたりと、多くを学べる、とても素晴らしい機会でした。研修の始めに行われたプレゼンテーションでは、各研修員の国や町、家族のことや日系社会での活動を紹介しました。地域によって特色がありますが、日本のお祭りや、運動会や盆踊りといった文化が継承されていました。

移住学習で家族の移住の歴史や日系人のポテンシャルなどについての講義が行われ、グループワークで他の研修員と話し合い、たくさんの気づきがあったようです。JICA 横浜周辺で、南米と日本の友好記念碑や実際に移民船が旅立ったところを見学したりしました。「おかげさま」という言葉を学びました。自分達がここにいるのは、ご先祖様が頑張ってくれたおかげ、大勢の方々のおかげです。研修員にも感謝の気持ちを忘れないでほしいものです。

書道や茶道、藍染めといった日本の伝統文化を体験する機会もあり、藍染めを地元の地域活性化に役立てられないかと考える研修員もいました。また、未来科学館を見学し、日本のテクノロジーについても体験することができました。

高校体験入学とホームステイでは、4校に協力していただきました。どの学校も研修員を大変歓迎してくださいました。日本の高校やバディの生徒さんのお宅で過ごしたことで、自国の学校との習慣の違いに気づけるよい機会を与えていただきました。そして、日本の公立の学校がとても綺麗で、施設が充実していて驚いていました。その後、週末に研修員達とバディ達で一緒に出掛ける姿も見られました。

研修旅行では、鎌倉と江の島を見学し、お寺と神社の違いなどについて学びました。研修員は、とにかくたくさん写真を撮ったり、おみくじを引いたりして楽しんでいました。南米からの留学生と交流する機会がありました。先輩がたのお話を聞いて、将来日本で留学するという研修員達の夢がもっと身近に感じられたのではないかと思います。

その他：

日系の歴史や日系人のアイデンティティやポテンシャル、留学生との交流など、過去と現在、将来につながる講義や活動があって良かったです。

日本文化体験や研修旅行、高校入学、ホームステイなど、貴重な一生の経験ができたと思います。最終報告会で将来日系コミュニティに貢献しようという研修員が多くて感動しました。次の世代の日系が成長するところが見られて良かったです。いろいろあったけれどとても楽しかったです。今回来れてよかったです。また機会があったら是非来たいです。

研修員の皆さんが今回の研修で得た友情、経験は一生の宝物です。帰国後、学んだことを活かして、日本と南米の懸け橋となって活躍することを願っています。研修前、9カ国40名(!)の研修員の引率ということを知り、正直自分に務まるかと心配しましたが、関係者の皆様のおかげで何とか無事に研修を終えることができました。この貴重な経験に心から感謝しています。どうもありがとうございました！

引率者 ブラジル サンパウロ州 マリアリア日本語モデル校所属

ブラジル サンパウロ州 モジ・ダス・クルーゼス市中央日本人会所属

コロンビア サンティアゴ・デ・カリ市 日本語センター光園所属

VI 総評

本研修は、①日本人の海外移住の歴史、自分たちのルーツ、日本文化、習慣等を学び、日本に対する理解を深めることで、日系人としてのアイデンティティを考えること、②日本でのさまざまな経験や交流を通じて、自分の考えを発信する機会を持つこと、③本研修で得た知識、研修の成果を基に、これからの日系社会をリードする発信力のある人材を育成することを目的として実施され、9カ国から計40名の研修員および引率教員3名が参加しました。

40名の研修員は同じ「日系人」であっても、生まれ育った国や環境はさまざまです。自国や地域で日本語や日本文化が受け継がれ、自分を「日本人だ」と意識して過ごしてきた研修員もいれば、または日系人が少ない地域に暮らしているため、日本語や日本文化から遠ざかっていると感じている者もあり、自身のアイデンティティや日系社会への取り組みについてなど、それぞれの課題や目的を持って研修に挑みました。

移住学習では、アイデンティティや日本人移住の歴史に関する講義を受け、研修員同士が自国や地域の日系社会を紹介するプレゼンテーションを行うことで、自国や家族だけではなく、中南米へ渡った日本人の移住について学び合い、理解を深めていました。講義を受け、研修員同士でディスカッションや発表を行うことで視野が広がり「違う国にいても同じことを考えていた人がいた。」「他の国の日本人移住者の歴史を知り、その違いに驚いた。」と話す姿が見られました。

高校体験入学・ホームステイは、神奈川県内の高校で実施しました。日本人の高校生の生活を体験するため、ホームステイ先から高校生と一緒に通学し、授業や部活動等に参加しました。この期間中、研修員は高校の先生や生徒、ホストファミリーと一生懸命コミュニケーションを図って過ごし、「言語だけでなく生活習慣や生き方などたくさん学ぶことができた。」と話していました。

研修旅行では、日帰りで箱根、鎌倉、江ノ島を訪れました。日本の歴史や寺社仏閣、火山、伝統文化、建築、観光、自然など、各自の視点で日本を感じながら学んでいました。

研修プログラム終了時に実施したアンケートには、多くの研修員が「帰国後、地域の日系社会や日本語学校において研修で学んだことを共有する。」と記載し、中には「次の世代の背中を押ししたい。」「将来は中南米と日本の架け橋となる組織で働きたい。」等、今回の研修で受けたことを次の世代へつなげようとする研修員や明確な将来の目標を掲げる研修員も見受けられ、非常に頼もしく感じます。帰国後、研修員たちが本研修で出会った仲間や多くの人たちへの感謝の気持ちと、先祖や家族を敬う気持ちを忘れずに、各国で周囲の方々と協力しながら日系社会をリードし、貢献していく人材になることを期待します。

Ⅶ 添付資料（募集要項）

2023年度「日系次世代育成研修（高校生招へいプログラム）」

募集要項

1. 研修の目的

中南米の日系社会では世代交代が進み、2世、3世以降が今後の日系社会を担う存在となっています。本研修は今後の日系社会を担う世代に対する本邦での研修を通して日本との関係強化や移住先社会の発展に貢献できるような人物を育成することを目的としています。

本研修では、これまで来日機会に恵まれなかった優秀な日系高校生が、本邦での様々な交流を通じ自らの考えを発信する機会を持つこと、また、本研修で得た知識や成果を基に日系社会をリードする発信力のある人材へと育成されるとともに、日本人の海外移住の歴史に関する学習、その他各種研修を通じて、自分たちのルーツと日本に対する理解を深める、さらに自らの日系人としてのアイデンティティを強化することをねらいとしています。

3. 対象国および受入計画数

10カ国40名 ※2023年度特別枠含む（+引率者3名）

対象国	人数	対象国	人数
ブラジル	18名※	メキシコ	2名
ボリビア	4名※	ドミニカ共和国	1名
パラグアイ	4名※	コロンビア	1名
ペルー	4名※	ベネズエラ	1名
アルゼンチン	4名※	ウルグアイ	1名※

※特別枠についてはP8の14.に記載しています。対象国の応募者は確認ください。

3. 研修期間（予定）：24日間

来日日：2024年1月15日（月）

帰国日：2024年2月7日（水）

4. 研修概要 ※プログラムの内容は変更となる可能性があります。

プログラム	内容	研修場所
移住学習	海外移住資料館等の見学 移住に関する講義、ワークショップ 各研修員のルーツを探る	JICA横浜 史跡、博物館等
日本の高校生との国際交流会	国際交流会	神奈川県内の高校（予定）
研修旅行	日本の文化・社会・科学技術等の理解	未定
その他	プレゼンテーション指導 作文指導 研修報告会	周辺の会議室

【重要】新型コロナウイルスの感染状況により、実際の研修内容が上記から変更となる可能性があります。

5. 宿泊（研修旅行期間を除く）

JICA横浜周辺のホテルを予定しています。

6. 引率者

渡航中・研修中の研修員の生活指導・健康管理その他必要な指導のため、下記のとおり引率者を招へいします。今年度訪日研修実施より、従来のプログラム引率者（日本語学校教員）に加え、研修員とコミュニケーションを取り、健康面や安全面の管理を行う引率者（健康・安全管理員）を追加募集します。

- ◆ブラジルから1名（日本語学校教員）
- ◆対象国の日系社会関係者から2名（健康・安全管理員）

引率者（日本語学校教員）の主な役割は、以下のとおりです。

- (1) 本邦への往路・本邦からの復路における研修員の引率
- (2) 研修員の健康、生活管理に係る指導及び対応
- (3) 研修プログラムへの同行及び実施補助
- (4) 研修報告書執筆に係る指導
- (5) その他、研修において必要な業務

引率者（健康・安全管理員）の主な役割は、以下のとおりです。

- (1) 研修員宿泊フロアの夜間巡回による安全管理・指導
- (2) けがや急病などの一次受付、及び二次対応者への連絡

※夜間に上記役割を遂行していただくことを想定していますので、日中は、体を休める時間を取っていただきます。

※引率者（日本語学校教員）については以下2点の条件を満たしている方を希望します。

- (1) 教師歴について：日本語学校での勤務歴が2年以上で、研修員と同年代を対象としたクラスを担当している（または担当したことがある）先生。
- (2) 日本語力について：1世の先生でない場合には、日常での日本語会話やりとりにも問題がなく、かつスペイン語圏の研修員とスペイン語または英語で意思疎通ができる先生。

※引率者（健康・安全管理員）については以下の条件を満たしている方が対象になります。

- (1) 20歳以上の日系社会の関係者（日本語学校教員、日本人協会会員、JICA帰国研修員、日系の大学生などが該当）日常において日系社会で研修員と同世代と接している方が望ましい。（参加研修員の保護者は対象外）
- (2) 日本語能力は日常会話程度以上とし、研修員とスペイン語/ポルトガル語で意思疎通ができる方。
- (3) 健康で責任をもって業務を遂行できる方。

7. 【研修員】応募資格要件

応募者は、次の要件をすべて満たしていなければなりません。

- (1) 海外移住者及び概ね日系3世までの海外移住者の子孫（※）であること。
※日本人移住者の血統を引く者を指します。
※事業対象国に定住していること（主たる生活基盤があること）。
- (2) 研修参加時点で、本事業対象国の教育機関に所属し、かつ年齢が、原則、日本の高校生相当（16歳以上、18歳以下）であること。
- (3) 原則、中学生招へいプログラム参加経験者は対象とせず、来日経験のない候補者を優先する。
- (4) 親権者または保証人の同意が得られること。
※共同親権が法制化されている国においては、全親権者の同意が得られること。
- (5) 日常会話レベルの日本語力又は英語力を有すること。また日本での講義を日本語または英語で受講し、かつ議論に参加できるレベルの能力を有すること。
- (6) 原則6ヵ月以上日本に滞在したことがないこと。また、幼少期を除いて複数回来日経験のあるものは6ヵ月未満の滞在であっても原則対象としない。
- (7) 日本についての理解を深める強い意欲があること。
- (8) 心身とも健康で、本邦での集団生活に耐えられること。
※アレルギーや日常的に摂取している薬があるか等、健康診断書に記載がない場合でも、可能な限り確認の上推薦してください。

(9) 原則、来日から帰国までJICA指定の全日程に参加できること。

8. 応募書類

【研修員】

(1) JICAが指定する以下の様式を使用して応募してください。

ア. 身上書…正本1通（様式第2号）

和文、英文のどちらか一つを提出してください。

氏名：この書類に書かれた氏名の表記（漢字・ひらがな・カタカナの区別も含みます）にしたがって、**査証申請に必要な合格通知書**を在外事務所にて発行します。**読みやすい字**で記入してください。

氏名アルファベット：

この氏名により、航空券の予約の確認等を行います。**読みやすい字で、渡航の際に使用する旅券に書かれているとおりに記入してください。スペル、名字と名前の順番、ミドルネームの有無に注意して記入してください。**

国籍：**来日に使用する旅券の国籍を記入してください。二重国籍の場合でも、今回の来日に使用する方の旅券の国籍だけ記入してください。さらに、日本以外の旅券を使用する場合は、日本国籍の有無についても記載してください。**

イ. 写真…2枚

最近6ヶ月以内に撮影したもの。

（縦4cm×横3cm、上半身、正面、脱帽、裏面に氏名・国名を記入）

※1枚は身上書に貼付してください。（データ可）

もう1枚はデータで他の応募書類とともに締切日までに提出してください。

ウ. 健康診断書…正本1通（様式第3-A号又は第3-B号）

和文、英文のどちらか一つを提出してください。

※全ての項目を受診し、診断結果が記入されていることを確認してください。**未受診項目や記入漏れがある場合は受け付けられません。（既往症、レントゲン写真番号、服用中の薬など、特に留意してください。）**

※アレルギー等持病や日常的に摂取している薬等がある場合は必ず申告してください。

※記入事項に虚偽のものと判明した場合には、研修に参加できなくなる可能性があります。

エ. 誓約・同意書…正本1通（様式第4号）

和文を提出してください。（英文は参考資料です。）

※共同親権が法制化されている国では、全親権者のものが必要となります。

オ. 作文「本研修の参加目的と計画」(様式第5号)

和文、英文のどちらか一つを提出してください。

※「本研修になぜ参加しようと思ったのか。どのような目標を持っているか。」について、日本語又は英語で作文を書いてください。

(2) 各団体から以下の書類を取り付け、応募と同時に提出してください。

所属日系団体からの推薦状…正本1通

※所属団体がいない場合は提出不要ですが、応募を機会に近辺の日系団体とコンタクトを取っておくことが望ましいです。

(3) 所有していれば、以下の書類も応募と同時に提出してください。

ア. 日本語能力試験認定書等日本語能力に関する証明書類…写し1通

※公的試験等を受けたことがない場合は提出不要。

イ. TOEIC、TOEFL等英語能力に関する証明書類…写し1通

※公的試験等を受けたことがない場合は提出不要。

ウ. 来日に使う旅券の写し(査証や出入国記録が記されている全てのページ)

(注1) 上記(1)のア、オの書類は必ず本人が作成してください。

(注2) 上記(1)から(3)までの書類がすべて完全かつ正確に記載されていない場合、またすべての書類が募集締切日(各国によって異なる)までに完全に揃っていない場合は受理されません。

(注3) 提供された個人情報は、①合否の判定、②研修受入の手続き、③事業実績の取りまとめ等の統計資料の作成のみに利用します。

【引率者】日本語学校教員及び健康・安全管理員

(1) JICAが指定する以下の様式を使用して応募してください。

ア. 身上書(引率者用)(様式第7号-1、第7号-2)

※【研修員】応募書類(1)のアの説明文を参照してください。

※様式第7号-2については、様式に記載されているテーマについて執筆してください。

イ. 誓約書(引率者用)(様式第8号)

ウ. 健康診断書(様式第3-A号又は第3-B号)

※健康診断書の様式については、研修員の応募書類と共通です。(【研修員】応募書類(1)のウを確認してください。)

(2) 来日に使う旅券の写し

応募時点で旅券を所有している場合、査証や出入国記録が残されている全てのページを提出してください。

9. 募集期間

JICA在外事務所への応募書類提出締切日は各在外事務所により決定されるため、各在外事務所の指示に従ってください。

応募の時点で旅券を持っていない応募者は、ただちに旅券取得の手続きを開始してください。外務省へ査証の手続きを依頼する際に、必ず、旅券に記載される正しい氏名の情報が必要になります。また、合格通知を受けてから旅券の手続きを始めると、来日に必要な査証取得が間に合わない可能性があります。査証取得が間に合わない場合には、研修への参加ができなくなることがあります。

※ただし、合否に関わらず、旅券取得経費についてJICAは負担しません。

10. 所要経費の支給

JICAは規程に基づいて次の経費を負担します。

(1) 指定する経路の往復航空運賃（航空券の現物支給とし現金の支給は行いません。航空券取得に必要な税金等、国際航空施設使用料もJICAが負担します。）

(2) 本邦国際空港と宿泊施設の移動に係る経費

(3) 本邦滞在中及び乗継のための第三国滞在中の生活費（食費）

(4) 宿泊施設の利用料金

(5) 海外旅行保険（往路・研修期間・帰路に係る期間）

※原則として、居住国の国際空港を出発した時から帰国した日の国際空港到着時点までが保険対象期間です。

※本邦滞在中は、技術研修/日系研修の研修員と同様、メディカルカードを作成します。

研修中の傷病については、研修スタッフが同行しメディカルカードが使える病院に行きますので、研修員に診療費の支払が生じることはありません。なお、既往歴や歯の治療は対象外です。

(6) 所外研修、高校体験入学、ホームステイ、研修旅行に係るJICA横浜と訪問先の間
の往復旅費

(7) 研修先に対する研修経費

(8) 引率者の支度料及び雑費（引率者のみ一般の技術研修員に準じて支給されます。）

11. 研修報告

研修員は研修修了時に本研修について報告書を提出するものとします。提出された報告書は製本の上、帰国前に研修員本人に手交します。（なお報告書は研修受入先とJICA在外事務所にも配布します。）また、研修員は帰国後に日系団体等での報告会を行い、実施報告書をJICA在外事務所に提出してもらいます。

12. 研修員の資格取消

研修員が次の事項に該当する場合、JICAはその資格を取り消すことがあります。この場合、（6）および（8）の事項を除き帰国に必要な経費は研修員の自己負担とします。

- (1) JICAの規則、指示および決定に従わなかったとき
- (2) 研修先の規則に違反した場合
- (3) 日本国の法令に違反した場合
- (4) 本人の故意、重大な過失または怠慢等により、研修を継続することが困難と認められるとき
- (5) 本人の都合により研修を中断したとき
- (6) 心身の著しい障害、傷病等のために研修を継続することが困難と認められるとき
- (7) 応募書類の記載事項に虚偽が発見されたとき
- (8) その他JICAがやむをえないと認める事由があるとき

13. その他の留意事項

- (1) 家族の同伴は認められません。原則として、往路・復路とも研修員が集合し、集団で渡航します。
- (2) フライトスケジュールについてはJICA在外事務所が決定の上、合格者に対して連絡します。
- (3) 滞在延長や帰路変更は認められません。研修終了後はJICAが定めるスケジュールで帰国してください。
- (4) 応募者は、事業対象国の国籍を有すること（あるいは日本の国籍を有すること）が望ましいです。
- (5) 合格者は「肖像権および個人情報使用承諾書」を提出してください。本研修期間中、JICAが契約するカメラマン又は委託先が、広報（各種報告書含む）用として写真及び動画の撮影を行いますので、写真及び動画の使用目的等について確認のうえ、署名してください。
- (6) 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、研修プログラムの変更、または来日中止となる可能性があります。なお、入国時に有効なワクチン接種証明書、または出国前PCR検査証明書が必要な場合は、研修員各自で責任をもって準備してください。最新の水際対策に伴う必要な各種書類・検査に関わる費用は自己負担となります。

(7) 2023年度はJICA横浜センターの改修工事を予定していることから、横浜センター外での研修実施を予定しています。

14. 2023年度特別枠について

(1) 特別枠とは：

2020年度～2022年度新型コロナウイルス感染拡大により、本邦研修が中止となり、多くの子弟の来日の機会が失われたことから、可能な限り多くの子弟の来日を実現できるよう、通常プログラムの対象人数に加えて追加募集するものです。

(2) 対象国（人数）：

ブラジル（4）ボリビア（1）パラグアイ（1）ペルー（1）アルゼンチン（1）及びウルグアイ（1）

(3) 対象年齢：研修参加時点で高校生年齢（16歳以上、18歳以下）

以上

別紙1：「日系社会次世代育成研修（高校生招へいプログラム）」応募書類様式

- 身上書（様式第2号）
- 健康診断書（様式第3-A号：和文、様式第3-B号：英文）
- 誓約・同意書（様式第4号）
- 「本研修の参加目的と計画」（様式第5号）

別紙2：「日系社会次世代育成研修（高校生招へいプログラム）」引率者応募書類様式

- 身上書（引率者用）（様式第7号-1、第7号-2）
- 誓約書（引率者用）（様式第8号）

※様式第1号及び6号はJICA在外事務所が作成する書類なので、本募集要項には添付していません。

独立行政法人 国際協力機構

〒102-8012 東京都千代田区二番町 5-25 二番町センタービル

TEL:03-5226-6660 (代表)

<http://www.jica.go.jp/>



2024年3月